

第86回

水戸・勝田都市計画事業東海駅西土地区画整理審議会議事録

1 開催日時	令和2年7月28日(火) 10時00分から11時00分まで
2 場所	役場議会棟2階 201,202委員会室
3 出席者	<p>【審議員】</p> <p>照沼委員，川崎委員，小川委員，舛井文夫委員 遠藤委員，中村委員，増淵委員，大高委員， 舛井操副会長，山崎会長</p> <p>【事務局】</p> <p>茅根区画整理課長，埴課長補佐，岩間課長補佐， 鈴木係長，大山係長，大平主任，松尾主事</p>
4 欠席者	なし
5 議事録署名人	小川委員，舛井文夫委員
6 議題	<p>1 仮換地の軽微な変更（報告）について</p> <p>2 令和2年度事業計画について</p> <p>3 その他</p>
7 議事の概要及び議決事項	<p>1 仮換地の軽微な変更（報告）について【非公開】 —所有権移転30件，分筆分割等9件—</p> <p>2 令和2年度事業計画について —資料に基づき説明（事務局）—</p> <p>委員) 総務費が令和元年度より5,600万円増額しているが理由はなにか。</p> <p>事務) 清算準備業務委託料としての委託金が5,400万円程を占めている。</p> <p>委員) 駅前広場の第3期工事により駅前大通りと交差する新たな道路ができ，交差点ができる。現在もロータリーには朝の渋滞がみられるが，交通渋滞の緩和，交差点の信号機設置，一旦停止の明示等による安全の確保はどのようになるのか？</p> <p>事務) 交通渋滞については議会でも質問を受けている。当初の設計では1分あたり車3台がピスト</p>

ンのようにはけていくという考え方で、渋滞しても進んでいくという計画であった。しかし現実には渋滞の指摘が多くあるので、近日中に交通量調査をして検討の必要の有無をお示しする予定である。

委員) 駅前大通りとの交差がT字路ではなく十文字になる。大通りとの交差側は一旦停止表示をしても止まらないのではないか。

事務) 警察との協議では、地震の際に信号が止まって混乱を招いたことがあったということから無信号という考え方に至り、見通しを良くしてコンパクトな交差点にするよう指導を受けた。協議の際には、駅前広場に入る大通りを優先として交差する道路に停止線を引くことに決めた。ただし右折も左折も直進も可能であるため、慣れるまで危険なところがあるかもしれない。11月から新設道路が使える予定であるため、工事看板や誘導員をしっかりと張り付け、警察にも立ち会っていただいて規制標識の必要性を検討する。

委員) 歩行者はどこを通ることになるのか？

事務) (ロータリー北側の大通り方面に渡る既存の) 横断歩道は道路の振り替えに伴って平行移動する。横断歩道以外の車道と接する部分には、車止めの間に重いプランターを設置する等により歩行者の通り抜けを防ぐ予定である。

委員) 大通りを横切る横断歩道はどうなるのか？

事務) 今あるものが完成の形である。

委員) 信号機はつかないのか？

事務) 信号機はつかない。停電時の話に加えて、渋滞中のピストン移動を止めてしまい駅前の通行を妨げる可能性があるため、設置しない予定である。道路の完成後に運用しながら安全性を検証していく。

委員) 自転車の流れはどうなるのか?

事務) 当初は自転車レーンを設けるという計画であったが、地元の要望や自転車交通量調査の結果により、設置しないことになった。その次の整備ランクとして、自転車歩行者道という交通規制となっている。自転車には歩道の車道寄りを通っていただくこととなる。

3 その他

なし

令和 2 年 8 月 11 日

東海駅西土地地区画整理審議会会長

山崎 弘夫



我々は、この議事録の記載が真正であることを確認して署名する。

審議会委員

小川 永信



審議会委員

外井 文夫

